

△産業宣教 三つの祝福 (創 26:3)	△核心訓練/Rt day 2 月学院福音化	△レムナント伝道学 レムナントの旅 (詩 78:70-72)
<p>□序論_創 22:1-19 モリヤの山(死) -雄羊(キリスト) イサクが死ぬことになったが、神様が雄羊を準備された。 △なぜ滅びるのか。理由は分からない。それが原罪だ。原罪によって死ぬしかないのに、神様がキリストを準備されたのだ。イサクに確かな福音が刻印されたのだ(人生左右)。</p> <p>詩 103:20-22 正確な契約を握るとき、御使いを(20 節)、神様のみこころを悟るとき天の軍勢を(21 節)、神様が完全に私とともにおられる礼拝と祈りを味わうとき、天の軍勢、御使いを動員(22 節)</p> <p>正確な契約を握る方法</p> <ol style="list-style-type: none"> みことばの流れ - 神様のみことばが、今、どのように流れて、私がどこにいるかだ。 祈りの流れ - 祈りの答えにも流れがある。 伝道の流れ - なぜカルバリの丘でオリーブ山で、マルコの屋上の間へと呼ばれたかを見るのだ。 使 13、16、19 - パウロがマルコの屋上の間で起きたことにそのままついて行った。 	<p>□序論_Remnant が先に覚えるべき三つのこと</p> <p>祈り-3, 9, 3 呼吸(吸う息) - 脳、たましい、御座(力) 三位一体神様(3)の 5 力と御座(9)、3 時代を思い出すくらい、ゆっくり呼吸しながら祈りなさい。すると脳も良くなる。これがたましいに力を受ける最も正確な方法で、御座の祝福を味わう最もはやい道だ。ここで、ものすごいエネルギーと力が生まれるのだ。</p> <p>メモ-みことば、祈り、伝道(職業)(答え) 文で書かないでもよいメモをしなければならぬ。ヨセフが亡くなった母親に会いたいとき、いつも祈って世界福音化のビジョン(みことば)を握ったのだ。これがいつも祈りにつながって、奴隷として行くことになったとき「世界福音化と奴隷」、ポティファルの家に行ったとき「世界福音化とポティファルの家」このように、みことばと事件がずっとつながって(メモ)、それで 24 になるのだ。伝道はみなさんの職業が伝道に用いられるので重要だ。このとき、実際の答えが見える。</p> <p>未来が見える=今いる場、時刻表=征服の座 →このとき、御座の祝福がきて、霊的軍勢が動員される。</p>	<p>□序論</p> <ol style="list-style-type: none"> 5 分以上 絵 3, 9, 3 △5 分以上本当に幸せな時間 - 祈りによって絵を描く - 脳とたましいの中に刻印 - 三位一体の神様が私とともに、御座の祝福が私とともに、3 現場と 3 時代が待っているすばらしいことが展開する。 1) 3 キャンプ 2) 3 Ceremony 3) 3 灯台 24 25 永遠 △この答えを受ければ 24 になって Top になる 25 の答え、そして永遠なことが見える Nobody → Everybody △Nobody から Everybody に行く。ここまで来る人は多くない。RT はここまで来るべき。 <p>□本論_一生の旅</p> <p>△Remnant は今日だけ見ずに一生の旅を見なければならぬ。一生の旅程の中の今日だ。</p> <ol style="list-style-type: none"> ダビデ <ol style="list-style-type: none"> 幼い時期(詩 78:70-72) 青少年時期(ゴリヤテと出会い) 青年時期(詩 23:1-6) 王時期(ただ神殿) 老年時期(アブシャロムの反乱でものすごいことを発見) Remnant の旅 - 3 キャンプ、3 セレモニー、3 灯台、この 9 つを Remnant の旅と言う。 キャンプ - Remnant はどんなキャンプをしなければならぬのか <ol style="list-style-type: none"> 土台 - すべての過去は土台 未来 - 今日とは未来 今日 - 未来は今日 <p>□結論_Remnant は永遠の旅程に行くのだ。 △Remnant は何もない Nothing なのに Everything へ行く</p>
<p>□本論_神様が与えられる答え三つ</p> <ol style="list-style-type: none"> 準備(創 26:10-22)(宣教) - 正確な契約を握って行けば、神様が宣教で来るように、100 倍の祝福を準備しておかれたということだ。 <ol style="list-style-type: none"> 大いなる国民 あなたの子孫 - 地のちりのように多くなる あなた自身から生まれ出て来る者 - あなたの跡を継ぐ あなたの子孫に代々守る契約を与えること イサクをモリヤの山に連れて行った。 創 22:13-19 神様が準備しておかれて、アブラハムとイサクに契約を刻印された。「あなたの子孫によって、地のすべての国々は祝福を受けようになる。」「あなたの子孫は、その敵の門を勝ち取るであろう。」 <p>△問題がくるたびに神様が準備されたことを見なければならぬ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 答え(創 26:19 泉の根源) - このときから来る答えだ。神様は泉の根源を得るようにされた。 <ol style="list-style-type: none"> 富み、ますます栄え(13 節) アブラハムが掘った井戸回復 泉の根源(困難) - ねたみ、嫉妬があるのは根源を与えられるということだ。根源を捜し出さない。 未来(レホボテ) - 未来を準備させられた。レホボテとは、さらに広くなったということだ。 <ol style="list-style-type: none"> エセク シテナ レホボテ <p>△争いが起こるとき、神様は本当に広いレホボテをくださろうとしているということだ。</p> <p>□結論_世界福音化しなければならぬから祝福を受けなさいということだ。 この契約を握ったかどうかは、神様も、人も、サタンも分かる。</p>	<p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ペリシテをあらかじめ征服したサムエル <ol style="list-style-type: none"> 祈りを通して起こったこと 征服(1 サム 3:19) - あらかじめ征服した。幼いサムエルの祈りで契約の箱が戻ってくる。 業績 - ミツパ運動、戦争が終わった。ダビデを見つけて油をそそいだ。 2 世界をあらかじめ征服したダビデ <ol style="list-style-type: none"> 羊飼(詩 78:70-72) - 王になる準備をさせられた 油をそそがれる - 神殿(契約伝達) 神殿準備 3 あらかじめ征服したエリヤ <ol style="list-style-type: none"> エリヤ - 田舎の人 困難がくるから錯覚 - ホレブ山であらかじめすべての情報が与えられた 征服 - すでにホレブ山でアハブ王とアラム征服 4 あらかじめ征服したエリシャ <ol style="list-style-type: none"> あらかじめ悟ったエリシャ II 列 2:9-11 (霊の二つの分け前) - すでに征服 ドタンの町運動 <p>□結論_このとき、起こること</p> <p>3 キャンプ(未来、祈り、タラント)、3 セレモニー(成人式、使命式、派遣式)、3 灯台(Platform, Watch Tower, Antenna) → 作られる CVDIP → All(すべて CVDIP の答え) - 感謝と余裕</p>	<p>△散らされた弟子たち ただのキャンプ (使 1:1-8)</p> <p>□序論_中国を生かすただが必要</p> <ol style="list-style-type: none"> 中国が必要とする福音(ただ福音) - 宗教団体、教権団体、理念団体は必要ない。 中国福音化 - 世界福音化されるように献身しなければならない(中国語 - 世界最多使用言語) 中国が神様の祝福を受けることだ。 <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> ただの始まり(オリーブ山) - オリーブ山で起こったキャンプ <ol style="list-style-type: none"> キリスト 神の国 聖霊 ただの内容(マルコ) - マルコの屋上の間で起こった内容 <ol style="list-style-type: none"> 三位一体の神様が臨む働き 使 1:14 契約を持った者の集い 三つの祭りの働き ただの未来(みことば) - マルコの屋上の間に参加した人々に与えられたみことば <ol style="list-style-type: none"> 夢 幻 預言するようになった <p>□結論_遠い未来 - 313 年コンスタンティヌス(250 年)がキリスト教を国教として宣言 ある日、中国にこの福音を思う存分伝えることができる時刻表がくる</p>

<p>△区域メッセージ ヨケベデとモーセが味わった私の 24 (申 34:1-12)</p>	<p>△聖日 1 部礼拝 福音の実 (マタ 7:15-20)</p>	<p>△聖日 2 部礼拝 岩の上に建てた教会 (マタ 7:21-27)</p>
<p>□序論_道(単語-全体+聖日) △みことばをずっと聞いて整理すれば道が見える→全体メッセージの中に今日の私の単語がある→聖日礼拝は生きていく理由→このようにメッセージを通して今日の私の単語があればできごとに出会ったとき、答えになる→未来が見えるようになる △ヨケベデが下した決断(出 2:1-10)</p> <p>みことば → 王宮 → 証拠(伝道、宣教) = 申 34:10-12 祈り</p> <p>△みことばには道の流れがある。みことばが必ず道になればならない。みことばを握れば、今日、見えなくても必ず道になる。祈りにも道の流れがある。その中でヨケベデが握った単語が息子を王宮に送るべきだという答えが出た。息子とイスラエルを生かす道がこの道しかないということを知って、乳母の役割をして、モーセにすべてのメッセージを伝達した。それによって世界を生かす証拠が出てきたが、これが伝道、宣教だ。それゆえ、この答えを受けた(申 34:10-12)</p> <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> ヨケベデはイスラエルが苦しみにあう理由を知っていた <ol style="list-style-type: none"> 出 1:8 王がイスラエル民族をなくそうとした 幼児殺害-王の命令 モーセ-このとき生まれた人物がモーセ 出 2:8-10 ヨケベデの切実さが伝達(祈りで礼拝) モーセが伝達された契約 24 <ol style="list-style-type: none"> レビ(礼拝)-モーセはレビの家系で生まれて礼拝を知っていた。 血のいけにえ(十字架)-羊の血を塗る日、抜け出す、エジプトの暗やみの権威を完全に打ちこわした 三つの祭り-王宮から出たのが問題ではない。当然、荒野に行かなければならない。 幕屋、契約の箱-これが次世代にはっきりと伝えられたのだ。 申 6:4-9 モーセに母親が教えたように、次世代に教えるのではなく、完全に刻印しなさい。 道(絶対旅程-計画) <ol style="list-style-type: none"> 40 年王宮-エジプト文化をみなキャッチした。 40 年ミデヤン-準備して祈った。 40 年荒野-完全な絶対旅程を行ったのだ。 <p>□結論</p> <ol style="list-style-type: none"> 編集(流れ)-みことばを私が握れるように編集すること、これはみことばの流れを把握したこと 設計(計画)-設計は神様の計画を見つけ出したこと デザイン(現場)-デザインはこれから行かなければならない現場を見たこと <p>△神様は私たちの事業と仕事に道を準備しておいて導かれる。そのような答えが出て来るように最も集中する日は聖日だ。それでこそ Remnant に道を話すことができる。ヨセフが大きい苦難を受けたように思うが、それが祝福の道で、この旅程をヨセフが見て、モーセが見たのだ。それ以前に、ヨケベデが見たのだ。</p>	<p>□序論</p> <ol style="list-style-type: none"> 先に確認すること-何の背景がないのか。その背景は必要ないことだ。貧しいのか。正しく始めれば良い。信仰生活が大変なのか。教会に行って人の話、世の中の話をする事なく、神様の契約を握れば良い。 注意すること-世の中を恐れるな。世の中をうらやむな(間違ったこと)。世の中を甘く見るな(サタンが掌握) 王のメッセージ-気を付けて、恐れてはならない。実を見れば木が分かる。 <p>□本論_三つのことを念頭に置いたメッセージ</p> <ol style="list-style-type: none"> ユダヤ人とパリサイ人の過去にだまされてはならない。 <ol style="list-style-type: none"> 再び奴隷、捕虜、属国になってはならない。 サタンの奴隷、捕虜、属国になっている。だまされるな。 今日起こることを見てうらやんではならない。 <ol style="list-style-type: none"> 世の中をよく見なければならぬ。みなさんが答えを受けて彼らを生かさなければならぬ。 世の中をうらやんではいけない理由-それは幸いではないためだ。 8 つの幸いの中に心に必ず置かなければならぬ三つ-今、受けている困難は重要な土台 <ol style="list-style-type: none"> 心が貧しい者-天国(マタ 5:3) 悲しむ者-慰め(マタ 5:4) 義に飢え渴いている者、迫害を受ける者-天国(マタ 5:6、10) 未来について恐れてはならない-イスラエルの滅亡、流浪、虐殺、福音を持つ少数が世界を生かした <ol style="list-style-type: none"> 必ず記憶すること <ol style="list-style-type: none"> マタ 5:23-24 兄弟と和解して礼拝 マタ 6:33 神の国とその義 マタ 7:1-5 批判 x、あなたの目の梁から見るべき。 マタ 7:24-27 砂の上に建てた家 福音を持った者の祈りはそのまま運ばれて器に入れられている。 <ol style="list-style-type: none"> 使徒ヨハネ(黙 8:3-5) ヨセフ ダニエル(ダニ 10 章) ダビデ(1 サム 24:6) 人を生かすいのちの福音の木を植えれば多くの人を生かす伝道の実がなる。 <p>□結論_神殿建築を始める教会はいくつかのことを祈りなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 キャンプ-祈りキャンプ、未来キャンプ、タラントキャンプ 3 セレモニー-神様が一生与えようとするタラント(成人式)、専門性(使命式)、現場性(派遣式) 3 灯台- 237、いやし、サミットしに来る Platform、Watch Tower の灯台、神様と世の中とすべての御座の力を疎通できる Antenna 	<p>□序論</p> <p>△光の経済のプラットフォームが最も重要だ。これを見つけなければ次世代に最も大きい問題がくる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 神のように(創 3 章)-私自身が神様になること。ここにみな引きずられて行っている。 ネフィリム(創 6 章、瞑想)-ネフィリムにしてしまう。レベルがあるように瞑想をして憑依運動をする。 第 2 バベルの塔(創 11 章)-第 2 バベルの塔運動をするということ <p>△この三つが光の経済を持つ人々がついて行くこともできないプラットフォームだ。</p> <p>□本論_岩(私たちは岩の上にプラットフォームを作らなければならない)</p> <ol style="list-style-type: none"> みことば-神様みことばのプラットフォームだ。 <ol style="list-style-type: none"> 詩 103:20 正確な契約握ったとき-「御使いたちよ。みことばの声に聞き従い、みことばを行なう力ある勇士たちよ」 詩 103:21 そのみことばの中で神様のみこころを見つけたとき-「主のすべての軍勢よ。みこころを行ない、主に仕える者たちよ」 詩 103:22 このみことば握って祈って礼拝するとき-「すべて造られたものたちよ。(動員される天の軍勢、御使い)」 神殿-光の契約を握ったこの神殿が「岩」だ。ここから光の経済が出てくる <ol style="list-style-type: none"> 幕屋-モーセが行った奇跡よりさらに優れたことが幕屋 神殿-ダビデが 14 代の間防げなかったペリシテをたたき壊したよりさらに優れたことが神殿準備 7 大神殿-初代教会が多くの殉教をしたが、その殉教よりさらに優れたのが 7 大神殿 <p>△完全にキリストが力を持って直接治める教会、これがプラットフォームだ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 幕屋(幕屋のすべての道具はキリスト)、会見の天幕(礼拝)、天幕(方向) 神殿(第 1, 2, 3) -神様が第 1, 2, 3 神殿を崩された。プラットフォームが間違ったためだ。 <ol style="list-style-type: none"> 異邦人の庭(237) 祈りの庭(いやし) 子どもたちの庭(サミット) 教会 <ol style="list-style-type: none"> 3 キャンプ-祈りキャンプ、未来キャンプ、タラントキャンプ 3 体験(3Ceremony) -ユダヤ人を超越するタラントを見つける成人式、彼らを生かすことができる専門性を育てる使命式、現場に目を開く派遣式を準備すべき 3 時代-講壇時代、重職者時代(現場)、Remnant 時代(未来) <p>□結論_3 灯台-光を照らす三つの灯台を作ること</p> <ol style="list-style-type: none"> プラットフォーム-多くの人が来ることができるプラットフォームを作って明かりを灯しなさい。 Watch Tower -滅びる人、わざわざ受けている人がいないのかを見る Watch Tower (物見の塔) だ。この明かりを灯しなさい アンテナ-いつでもくることが出来る明かりを灯すアンテナだ。 <p>△光の経済回復するプラットフォームを作りなさい。 私の生涯に次世代のために暗やみ経済と戦うべきだ。</p>